

～会議録抜粋～ 会議録より抜粋し、「一問一答形式に編集」したもので正式な会議録ではありません。

===平成25年第2回定例会 一般質問===

弘豊議員

2 障害のある人の雇用、就労支援策について

【質問1回目】

○弘豊議員 障害のある人の雇用、就労支援策についてです。

先月、民生常任委員会の視察で岡山県総社市が行っている障がい者千人雇用条例にかかわって、現地での取り組みを拝見してきました。

一般就労への積極的な支援と同時に、福祉的就労であっても、より社会性の高い仕事、収入を保障できる仕事の確保といった点で進んだ取り組みも聞き、実際に働く現場など案内してもらい、お話を伺うことができました。

本市でも、基本的には障害福祉計画に沿って施策も前進されていることと思いますが、数値目標はあっても具体化していない就労継続支援A型の事業所が総社市には10名規模で5か所もつくられているそうです。

障害のある人の社会参加と暮らしの向上をさせる上でも、摂津市で生かせることはないかという思いも持ちました。

本市の障害者雇用や就労支援策の課題について、伺います。

【質問1回目への答弁】

○堤保健福祉部長 障害のある人の雇用就労支援策についてのご質問にお答えいたします。

就労継続支援A型の事業所は福祉的就労ですが、利用者の方々に最低賃金以上の工賃支払いが必要なため、事業所としての運営には広域で利用者を求めないと成り立ちにくい事業でございます。

そのため、市内の方は近隣市に通所され、利用されておられる現状ではありますが、昨年度の障害福祉計画の実績値は数値目標をほぼ達成している状況であります。

また、本市には、一般就労の支援の取り組みとしまして、摂津市障害者職業能力開発センター「せつつくすのき」や就労移行支援事

業のある多機能型事業所ひびきはばたき園があり、多くの方々を一般就労に結びつけている実績があります。

さらに就職した方々の就労の継続支援の取り組みとしまして、障害者就業生活支援センターが活躍しており、一般就労の就職支援とともに、就労の継続支援の取り組みが大きなウエートを占めてきている状況でございます。

今後も、これらの事業を活用しながら、計画的に福祉的就労も含めた就労支援を行ってまいります。

【質問2回目】

○弘豊議員 障害者の雇用にかかわってであります。

就労継続支援のA型についてですけれども、これは計画の中でもなかなか実行していくのは難しいなということも触れられていたというふうに思っております。

ただ、仕事の中身という点で、一般就労には難しくても就労継続支援の仕事を選ばれて行かれている方、摂津の中では大勢いるというふうに認識しています。こうした就労継続支援B型の事業所であっても、より高い工賃や、また、仕事の確保が課題になっている、そうした方、いらっしゃるといふふうに思っております。

そういった点では、より積極的な支援を市のほうで行っていくことが大事だなというふうに思っておりますので、ぜひ、こういった点、また、いろんな全国で取り組まれている経験なんかも研究していただいて前進していただけるように要望しておきたいと思っております。